

令和2年度 当初予算



予算編成について

令和2年度の一般会計当初予算は、市長の重点施策である地方創生事業や公約である「元気な垂水づくり！経済・安心・未来からなる3つの挑戦！」の実現を目指し、喫緊の課題を中心に予算編成を行いました。歳入歳出予算の総額は110億8,900万円、前年度に比べ2.8%の減となっております。

歳入

市税は、固定資産税等の増収が見込まれることから、13億7,299万7千円（+1.6%）を計上し、本市歳入の柱である地方交付税は、国の地方財政計画を参考に38億3,860万円（+2.5%）を計上しています。市債は、中洲線道路改修工事など7億4,680万円

（▲40・1%）を借入れる予定です。

そのほか、各事業にあわせ国県支出金を約20億円、基金からの繰入金を約11億円計上しております。なお、ふるさと納税は、10億円を計上しております。

歳出

予算の質を高めることで財政運営の健全化を図りつつ、子育て支援や高齢者支援、市民の安心安全に係るインフラ整備、今年度開催される鹿児島国体の事業費を優先して、予算編成を行いました。

性質別では、人件費が会計年度任用職員制度導入などにより、22億1,143千円（+10・5%）、普通建設事業費が中之平団地建設工事完了などにより、13億7,855千円（▲27・4%）となっております。

歳出を目的別に見る！

| 目的別 | 令和2年度 | 令和元年度 | 前年比 | 主な内容 |
|--------|--------------|--------------|--------------|--------------------|
| 議会費 | 1億1,572万5千円 | 1億2,016万4千円 | △443万9千円 | 市議会運営 |
| 総務費 | 29億87万5千円 | 29億6,549万5千円 | △6,462万円 | 総務管理・財産管理・企画・税務事務等 |
| 民生費 | 31億3,240万7千円 | 29億7,712万7千円 | 1億5,528万円 | 児童・高齢者・障がい者の福祉推進等 |
| 衛生費 | 8億1,943万円 | 7億2,114万4千円 | 9,828万6千円 | ごみ、し尿の処理や健康増進事業等 |
| 農林水産業費 | 8億5,651万円 | 8億9,059万5千円 | △3,408万5千円 | 農業・水産業・林業等の振興等 |
| 商工費 | 1億6,715万1千円 | 1億1,762万円 | 4,953万1千円 | 商工業・観光の振興等 |
| 土木費 | 5億7,802万7千円 | 11億7,455万円 | △5億9,652万3千円 | 道路・公園等整備や維持管理等 |
| 消防費 | 5億586万2千円 | 4億8,439万9千円 | 2,146万3千円 | 消防活動や救急、消防団活動 |
| 教育費 | 8億9,233万3千円 | 7億7,871万6千円 | 1億1,361万7千円 | 学校の管理運営・生涯学習の推進等 |
| 災害復旧費 | 1億5,301万2千円 | 1億7,933万8千円 | △2,632万6千円 | 被災箇所の原状復帰のための費用 |
| 公債費 | 9億5,766万7千円 | 9億8,785万1千円 | △3,018万4千円 | 施設整備などで借りたお金の返済 |
| その他 | 1,000万1千円 | 1,000万1千円 | 0円 | 予備費等 |
| 合計 | 110億8,900万円 | 114億700万円 | △3億1,800万円 | |

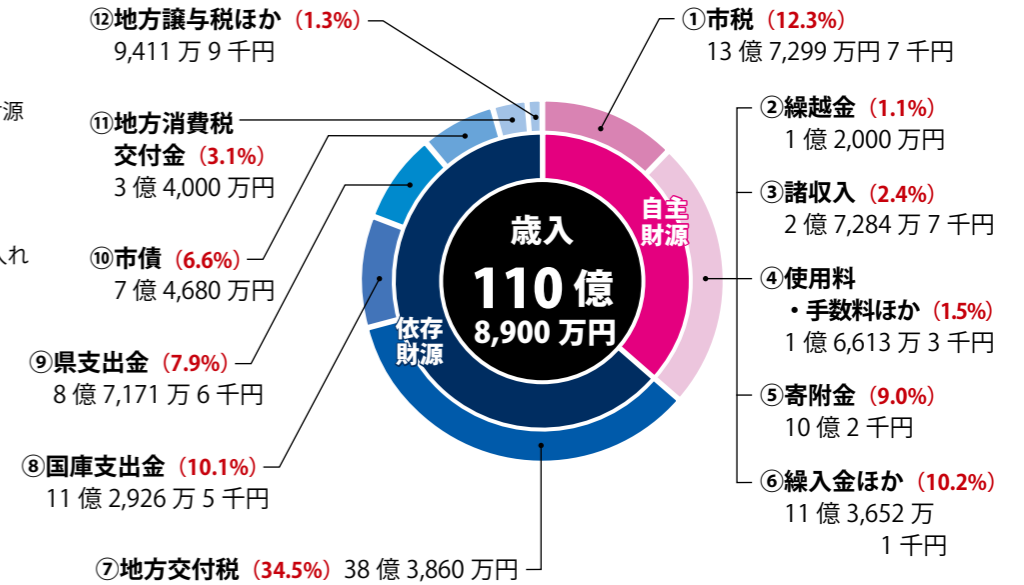
市民一人あたりの令和年度当初予算（一般会計）

$$76万2,917円 = \frac{\text{令和2年度一般会計当初予算 } 110億8,900万円}{\text{人口 } 14,535人}$$
※前年度比▲5,542円 ※令和2年2月末現在（住民基本台帳）

自主・依存財源割合

- 自主財源 (36.5%)
40億6,850万円
※垂水市が自ら収納できる財源
- 依存財源 (63.5%)
70億2,050万円
※国・県からの交付金や借入れによる財源

一般会計歳入



性質別歳出割合

- 義務的経費 (44.3%)
49億973万2千円
※義務付けられている経費
- 消費的経費 (24.3%)
26億9,877万7千円
※形を残さない性質の経費
- 投資的経費 (13.2%)
14億6,086万7千円
※道路建設などの公共事業費や国および県等の公共事業への負担額
- その他経費 (18.2%)
20億1,962万4千円

一般会計歳出

